昭和26年10月 8 日第三種郵便物認可　毎月 1 回 1 日発行
令和 4 年 8 月25日印刷　令和 4 年 9 月 1 日発行　第72巻第 9 号　通巻第852号

不二

小学上級版　4·5·6 年生用

令和四年度第２回昇段試験課題発表

9/2022

公益財団法人 日本書道教育学会

不二　小学上級版　2022 9月号　公益財団法人 日本書道教育学会

第6回

故事成語

蟷螂の斧

力のない者が、自分の力量を考えずに力の強い者に立ち向かうこと。

中国の春秋時代（紀元前七七〇年～紀元前四〇三年）のこと、斉の国王荘公が狩りに出かけたときのお話です。

＊＊＊＊＊＊＊＊

荘公が車に乗って進んでいくと、その行く手に一匹の小さな虫がいました。前足をふり上げて、今にも荘公が乗った大きな車に打ちかかろうとしています。

その様子を見た荘公は御者に尋ねました。

「これは何という虫だ。」

御者は言いました。

「これはかまきりという虫です。その虫は進むことは知っていますが、退くことを知りません。自分の力の足りなさを考えずに、目の前の敵を軽んじるのです。」

御者の話を聞いた荘公はこう言います。

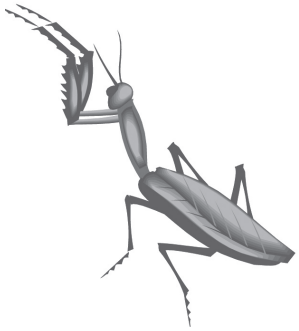
「この虫がもし人間であったなら、必ずや天下にその名をとどろかせる勇敢な人物になったことだろう。」

そうして御者に命じると、わざわざ車をぐるりとまわらせて、かまきりをよけて道を通ったのでした。

＊＊＊＊＊＊＊＊

この荘公の話を伝え聞いた者たちは、たとえ力が及ばなくても力の限り働かなければならないことがあると知ったのでした。

※「かまきり」のことを「蟷螂」といい、前足は「斧」のような形をしています。



故事成語とは？

私たちが使っていることわざや熟語の中には、中国の古いお話がもとになっているものがあります。このように、中国の昔の出来事（故事）から生まれた言葉を故事成語と言います。ことわざや熟語とともに、その元となった故事を紹介します。

日本を愛したドナルド・キーンさん

本会総務　甲谷　景子

この夏、神奈川近代文学館で「ドナルド・キーン展ー日本文化へのひとすじの道」を見てきました。アメリカ出身のキーンさんは２０１１年の東日本大震災の後、日本国籍を得たことが教科書にも載ったようですから、皆さんも知っている人でしょう。日本を愛し、世界に日本の文化と文学を広めてくれた人です。

若い頃、日本語と出会い好きになった理由の一つが、漢字の魅力だったそうです。子供の頃に切手集めをしていた時と同じような感じで、なるべく珍しい切手を集めようとするように、画数の多い難しい漢字を覚えることに夢中になったとのこと。皆さんも学校で毎日新しい漢字を学んでいるかと思いますが、大いに楽しんでください。おもしろがってくださいね。

キーンさんは、書道の稽古にも打ちこんだそうです。筆を使って美しい漢字を書くことは芸術の始まりであり、同じ筆づかいで竹や蘭を描くことで美術へとつながっていくともおっしゃっていたそうです。

キーンさんが一生をかけて大切にした日本の数々のもの、そのバトンを確かに受け取って大事にしていきたいと、あらためて強く思いました。

（上級版審査主任）

※ドナルド・キーン…１９２２年アメリカニューヨーク生まれ、２０１９年没。日本文化研究の第一人者。

目次

故事成語……表2
巻頭言／目次……1
今月の課題　半紙　四年生……2
半紙　五年生……3
半紙　六年生……4
硬筆　四・五・六年生……5
条幅　四・五年生……6
条幅　六年生……7
手本のならいかた……8
最優秀作品……14
優秀作品……15
七月月例競書成績表……24
みんなのこえ……44
夏休み・お盆写経……46
昇段試験出品のきまり……50
競書出品のしかた……54
硬筆用紙……55
のびのび君……56
出品券／課題予告／あとがき……57
全日本学生書道展公募規定……表3

表紙　龍門石窟の孫悟空の拓本より
デザイン　石橋　應和

しめきり厳守【今月の出品期間　８月29日（月）～９月６日（火）】

◎10月号（８月29日～８月31日発送）発表の段級を９月出品の作品に書いて出品してください。

段級検索ＩＤのご案内は24ページをご覧下さい。

◎教室長の方には、実力向上のためにも一般版の購読をお勧めいたします。

1級からご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。 昇段試験出品のきまりをご覧ください。

〔半紙4年生〕

七段～1級＝昇段試験課題
八段・2級～10級＝月例課題

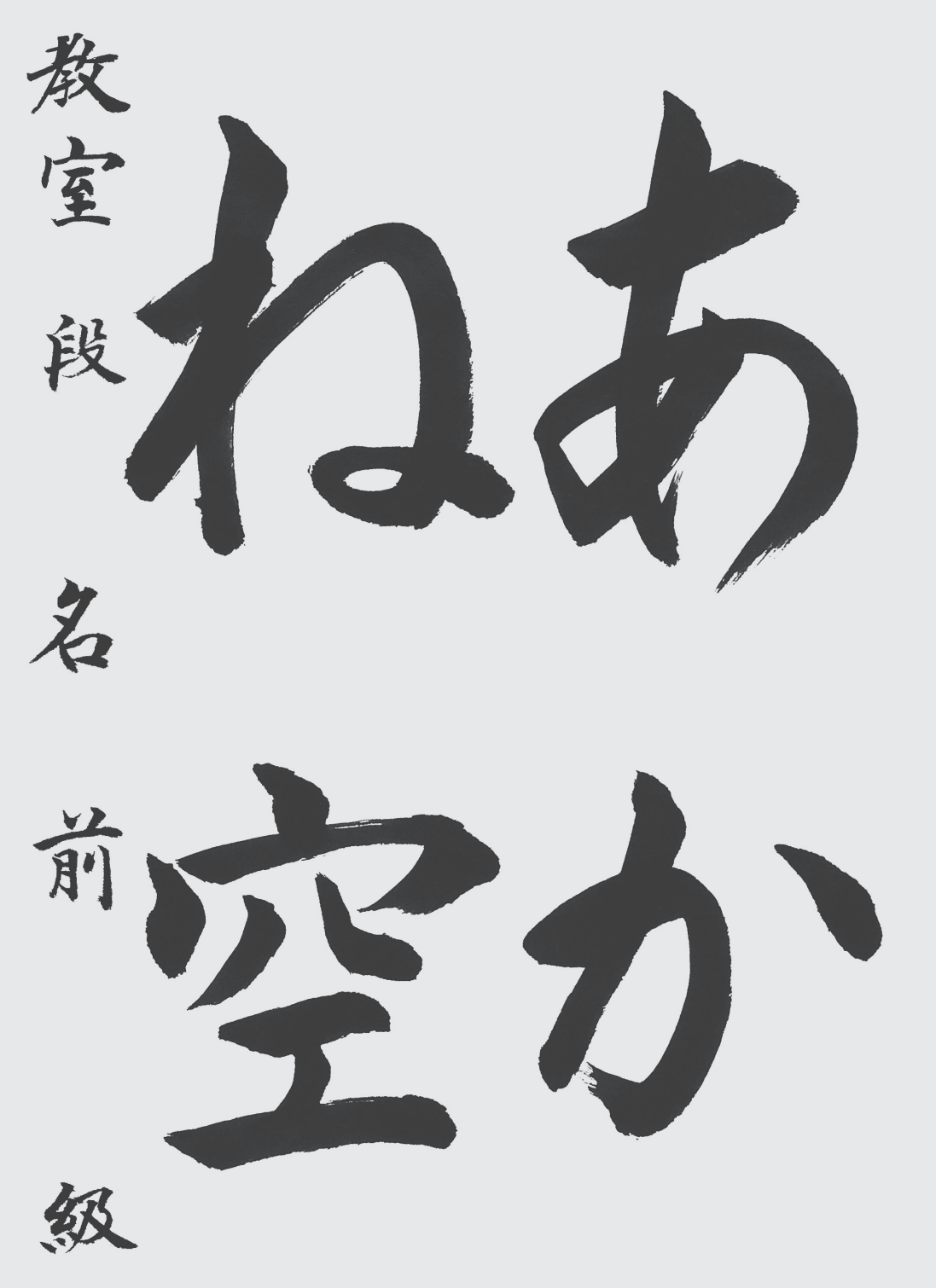
小久保嶺石先生書

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二…八）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2…10）で記入

出品券をはる



あかね空

（手本のならいかたは8ページ）

バーコード出品券をはる

☆はじめて出品するときはこの中の一字だけを書いても出せます。一字だけを出品する場合は、「四年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。
ていねいに書きましょう。

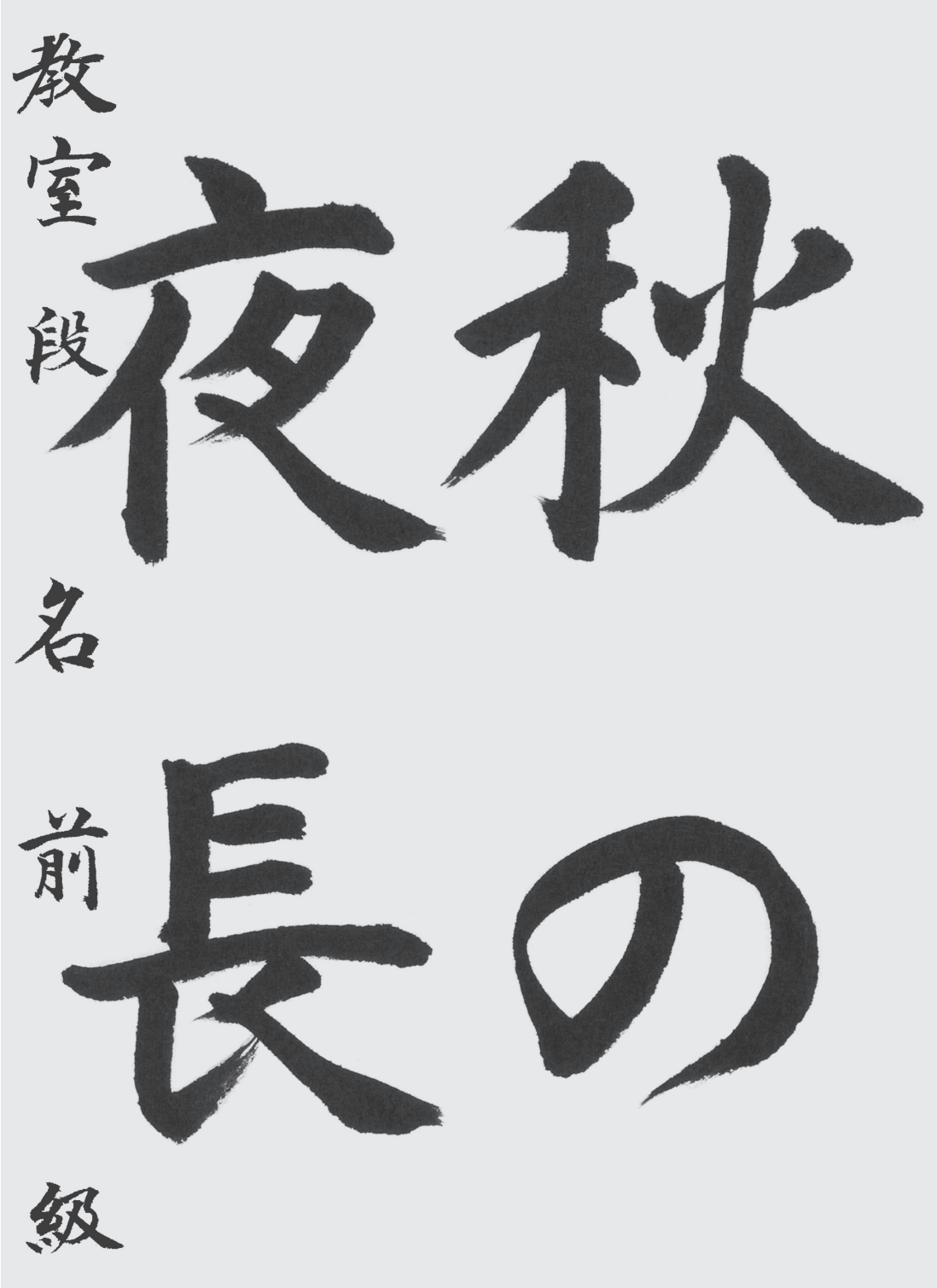
1級からご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。 昇段試験出品のきまりをご覧ください。

〔半紙5年生〕

七段～1級＝昇段試験課題
八段・2級～10級＝月例課題

小久保嶺石先生書

秋の夜長



☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二…八）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2…10）で記入

出品券をはる

バーコード出品券をはる

☆はじめて出品するときはこの中の一字だけを書いても出せます。一字だけを出品する場合は、「五年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。
ていねいに書きましょう。

（手本のならいかたは8ページ）

1級からご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。 昇段試験出品のきまりをご覧ください。

〔半紙6年生〕

七段～1級＝昇段試験課題
八段・2級～10級＝月例課題

小久保嶺石先生書

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二…八）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2…10）で記入

出品券をはる

馬肥ゆ

（手本のならいかたは9ページ）

バーコード
出品券をはる

☆はじめて出品するときはこの中の一字だけを書いても出せます。一字だけを出品する場合は、「六年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。
ていねいに書きましょう。

1級からご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。 昇段試験出品のきまりをご覧ください。

福原溪春先生書

（手本のならいかたは 10 ～ 12 ページ）

七段～１級＝昇段試験課題　八段・２級～ 10 級＝月例課題

〔硬筆４年生〕

いわし雲が 空いっぱい
に広がっている

いわし雲が　空いっぱいに広がっている

★用具は鉛筆または呉竹かきかたぺん（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

（小学校の硬筆は鉛筆が中心ですから なるべく鉛筆で書くようにしましょう。）

〔硬筆５年生〕

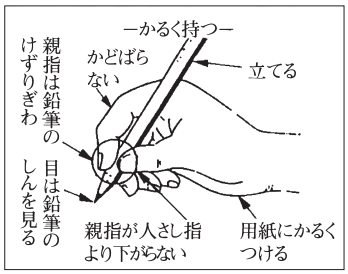
わたり鳥の群れが 秋空
を飛んでいく

わたり鳥の群れが　秋空を飛んでいく

〔硬筆６年生〕

俳句は 世界で最も短い
詩形の一つである

俳句は　世界で最も短い詩形の一つである



――鉛筆の正しい持ち方――

学習のポイント

■ 左の絵のように鉛筆は正しく持ちましょう。
■ 書く前によく手本を観察しましょう。
■ 筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
☆ 名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。
☆ 鉛筆は２Ｂか３Ｂを使うのがのぞましい。
☆ 清書では消しゴムを使用してはいけません。

七段～１級＝昇段試験課題　八段・２級～10級＝月例課題

〔条幅5年生〕 小久保嶺石先生書

教室名

段（赤の漢数字）

名前

級（黒の算用数字）

月別出品券

バーコード出品券をはる

夕焼け

〔条幅4年生〕 小久保嶺石先生書

教室名

段（赤の漢数字）

名前

級（黒の算用数字）

月別出品券

バーコード出品券をはる

虫時雨

★条幅の大きさはたて68㎝×よこ23㎝（全紙6分の1）です。

【お願い】条幅作品でも、半紙作品と同様に、「教室名、段（赤の漢数字）、名前、級（黒の算用数字）」を書いてください。

1級からご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。 昇段試験出品のきまりをご覧ください。

〔条幅6年生〕小久保嶺石先生書

星月夜

★段は赤の漢数字（初・二…八）、級は黒の算用数字（1・2…10）で記入。

バーコード出品券をはる

出品券横に○年と学年を明記して下さい。

（手本のならいかたは 13 ページ）

学習のポイント

筆使い

条幅作品では、筆使いを工夫して書きましょう。筆の鋒の弾力（バネ）を使って、のびのびと。

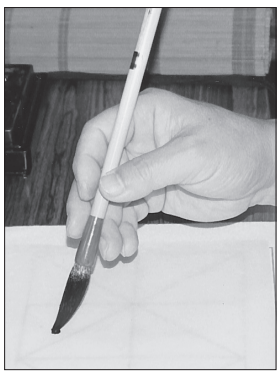
反省と鑑賞

書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや線の太さがよいか見ましょう。全体感、三字の収め方を確かめましょう。

章法（構成）

名前はしあげです。全体を見て入れましょう。

◆双鉤法 ふでのもちかた



人さしゆび、中ゆびの２本をふでのじくにかけてもつもちかた。

紙面から手首を離して、筆管は第二関節に副えます。手首を柔らかくして、指には力を入れずに軽く持ちます。腋を開いた分だけ腕を上げ、手首と指を少し内側にまわした型で筆を持ちます。

これは運筆のときの筆と手指、腕の状態を示しているのではありません。ご注意を！

手本のならいかた／半紙

小久保嶺石先生書

ここに注意 4年生

ねらい

★半紙四字書き課題。

★ひらがなと漢字の調和。

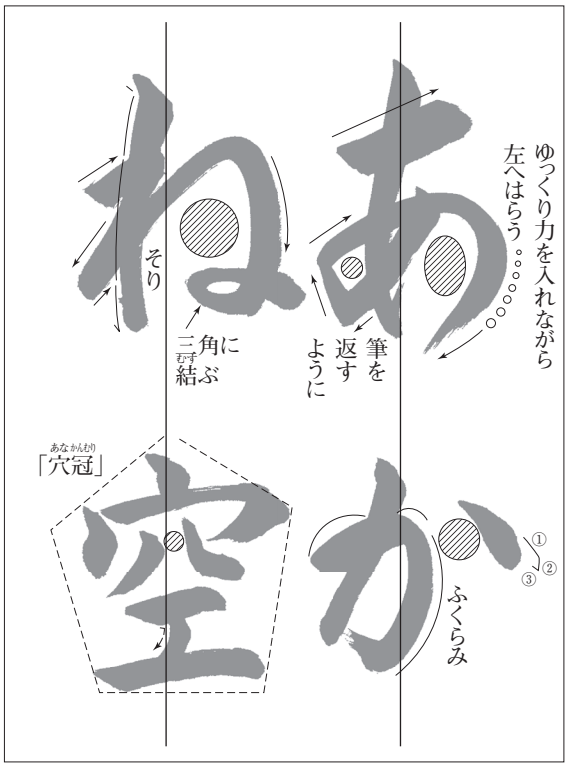
学習のポイント

あ…一画めは力強く右上がりに。二画めはややふくらみを持たせる。三画めの曲がりは、ゆっくり力を入れながら、左へとひきはらう。

か…一画めの曲がりはゆったりと力強く。二画めは長くなりすぎないように気を付ける。三画めは一画めと少し間をあけ、①②③のリズムで筆を運ぶ。

ね…一画めは中心より左に寄せて、そりを持たせるようにひき、二画めへ気持ちをつなげる。二画めの転折をしっかりと、大きく回り、最後は三角に結ぶ。

空…「穴」(あなかんむり)と「工」のバランスに気を付け、五角形の概形をイメージして書く。



◎あきに注意

小久保嶺石先生書

ここに注意 5年生

ねらい

★半紙四字書き課題。

★余白や字間の取り方を学ぶ。

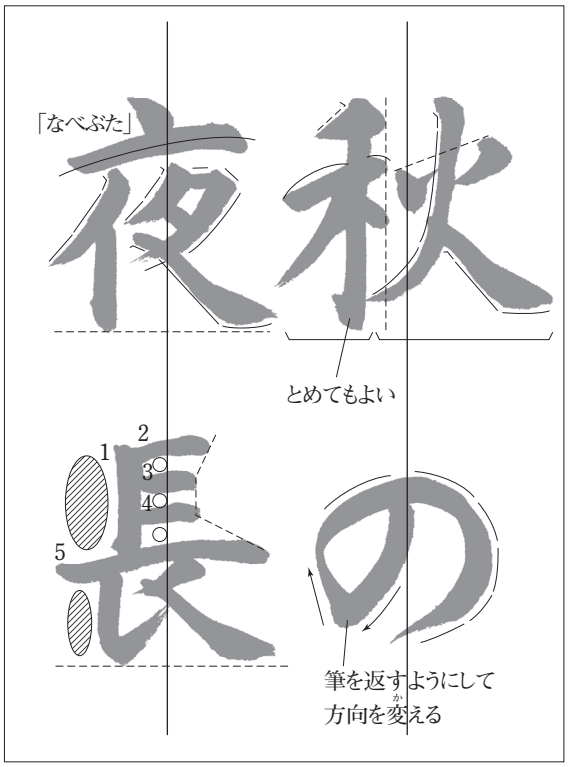
学習のポイント

秋…「禾」(のぎへん)の一画めのかたむき具合に注意する。三画めの最後はとめても良い。

の…大きな曲がりは骨力をつけて(線に骨が通っているように)運筆する。

夜…点画の長短、方向をよく観察して、「亠」(なべぶた)「亻」「夕」の組み合わせをバランスよくまとめたい。

長…筆順に注意。横画の長さや間隔に気を付ける。



◎あきに注意　○広さに注目

手本のならいかた／半紙

小久保嶺石先生書

ここに注意 6年生

ねらい

★やさしい行書の練習。

学習のポイント

馬…横画の長さと間隔に注意する。最後の四つの点の方向と大小をお手本で確認して書く。

肥…「月」（にくづき）と「巴」の組み合わせ。偏はや太めの線でどっしりと、旁は細めの線でスッキリとまとめている。

ゆ…一画めから二画めへと流れよく筆を運ぶ。

しつもん いろいろ

Q. 天と地というのは？

A. 昇段試験が行われない月では、1級以上の人の作品はよい方を天、その他を地の二段階にわけてあります。**天・地はその月かぎりの成績です。**（たとえば前月〈初段・天〉でも、翌月〈初段・地〉となる場合もあります。）

Q. 「不二」にのった優秀作品は返してもらえるの？

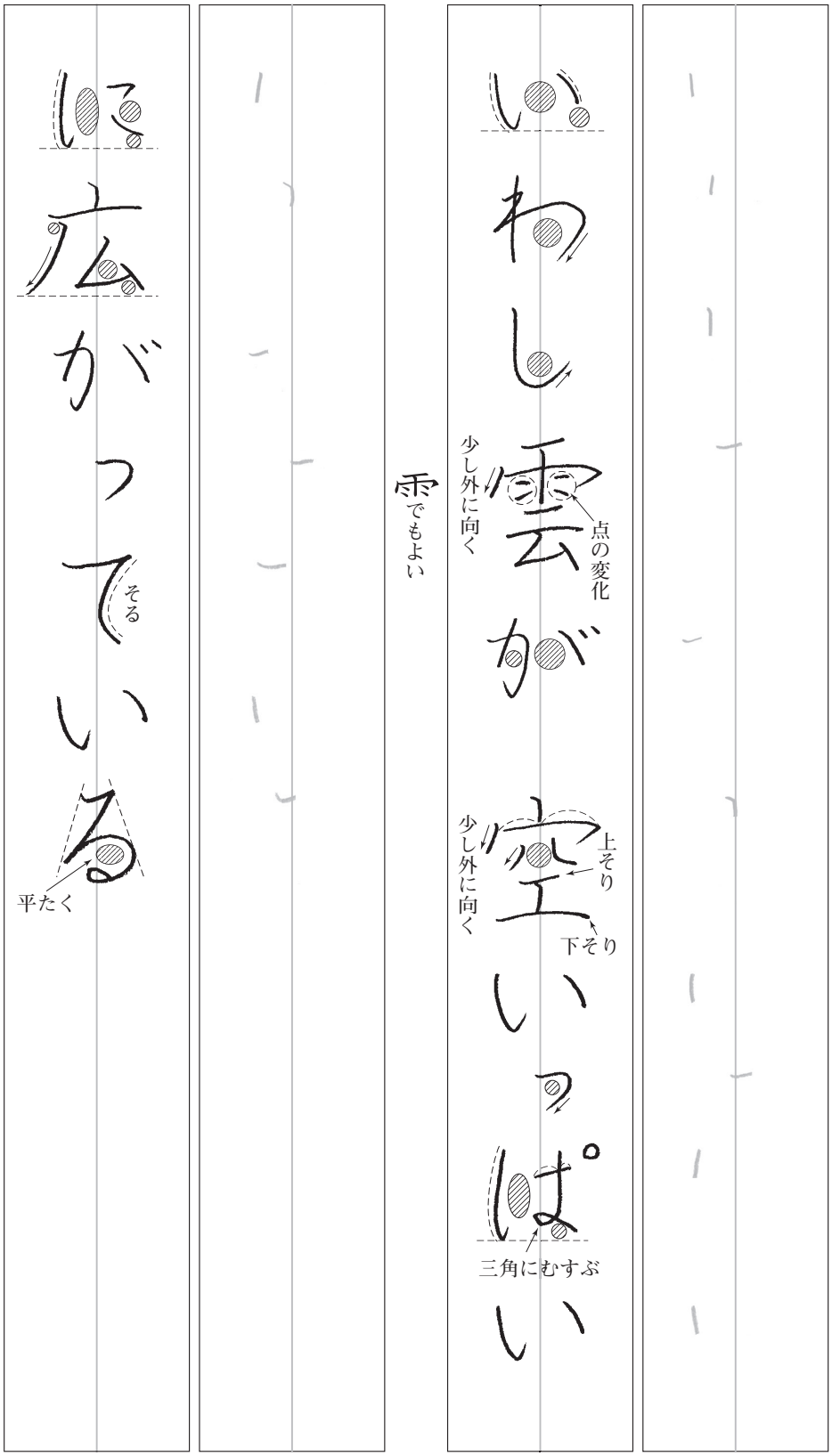
A. 写真版掲載作品を返却ご希望の方は、掲載後三か月以内に、**「上級版○月号、部門（半紙・硬筆・条幅）、○ページ、学年、名前、郵送先の住所、ご連絡先電話番号」**を明記し、一作品につき手数料**一、〇〇〇円の郵便小為替**を同封の上、**「日本書道教育学会写真版係」**までお送りください。到着しだいお返しします。（競書作品は努めて保護しますが、審査による損傷にはその責任を負いません。）

Q. おともだちのカットはいつのるの？

A. みなさんからたくさん届いています。送ってから**三～四か月待っていてください**ね。（大きさがちがったり、名前や学年が書いていなかったりするとのせられませんので気をつけてください。）

手本のならいかた／硬筆

4年生



◎あきに注意

※上をそろえた書式で書いています。
※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

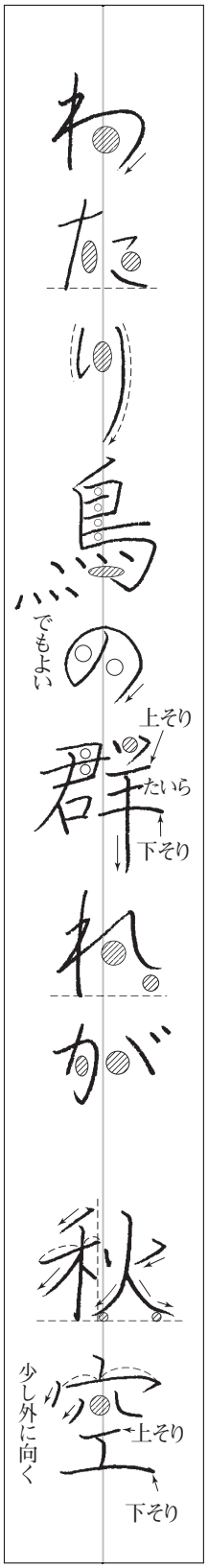
※算用数字は筆順の一部を示しています。

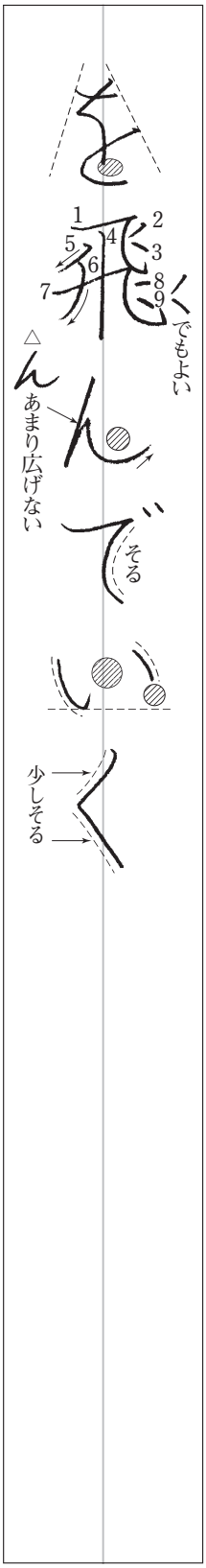
※1画めの起筆の部分を示しています。
※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

福原溪春先生書

手本のならいかた／硬筆

5年生





○同じ広さ　◎あきに注意

※算用数字は筆順の一部を示しています。

※1画めの起筆の部分を示しています。

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

※上をそろえた書式で書いています。

※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

福原溪春先生書

手本のならいかた／硬筆

6年生

○同じ広さ　◍あきに注意

※算用数字は筆順の一部を示しています。

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

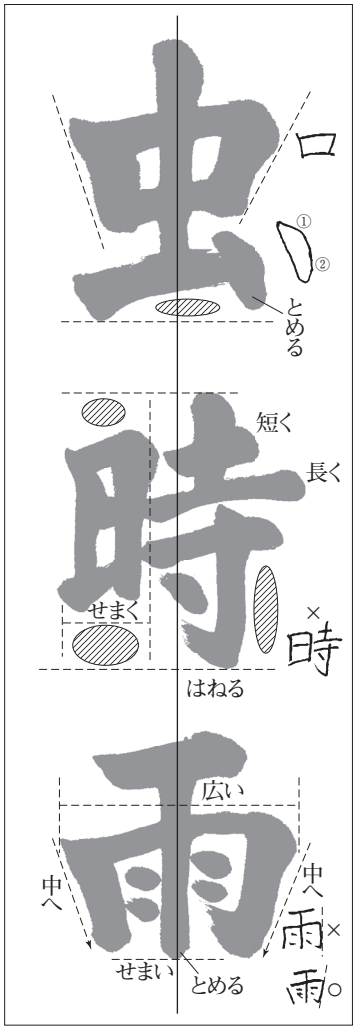
※上をそろえた書式で書いています。

※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

福原溪春先生書

手本のならいかた／条幅

小久保嶺石先生書



○広さに注目　◍あきに注意

ここに注意 **4年生**

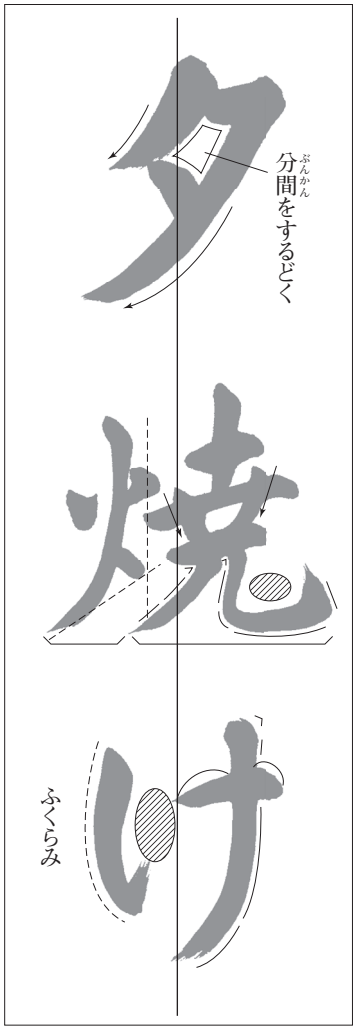
学習のポイント

虫…中心となるたて画を体でひく。六画めの点は①②のリズムで力強く書く。

時…「日」（日へん）は横に広くならないように注意して、「寺」がゆったり書けるようにすると調和した字となる。

雨…二・三画めのたて画はそれぞれまっすぐにひかず、中へよせるように書くとよい。

小久保嶺石先生書



ここに注意 **5年生**

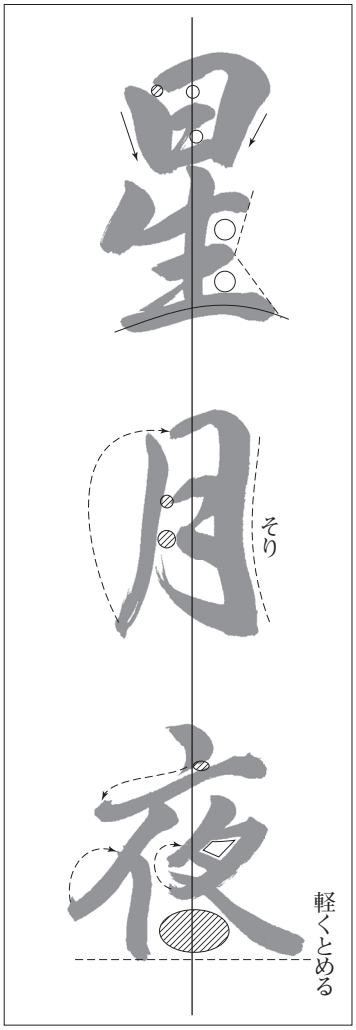
学習のポイント

夕…画数が少ないので、やや太めの線で伸びやかに表現する。

焼…「火」（火偏）は小さく右に出すぎないようにして、偏と旁のバランスをとる。

け…点画の太細に注目して、気持ちをきらさずに運筆する。

小久保嶺石先生書



ここに注意 **6年生**

学習のポイント

星…「日」を「生」が支えるイメージで書く。「日」と「生」の三つの横画では、二つ目と三つ目の線のつながりを意識するとよい。

月…三・四画めの連続に着目する。また一画めと三・四画めとを離すことで、明るい表現となる。

夜…点画の長さ、傾きに注意しながら、細めの線で流れよく運筆したい。最終画はゆったりと、最後は軽くとめる。

【お願い】条幅作品でも、「教室、段（赤の漢数字）、名前、級（黒の算用数字）」を書いてください。

第72回全日本学生書道展 公募規定

出品期間：令和4年10月3日（月）～10月7日（金）

〈趣　旨〉 感受性に富む幼少年期の児童、生徒達に書道作品発表の場を提供し、書道研鑽を通して、我が国の誇る伝統ある文字芸術、書道の知識を豊かにし、感性を陶冶し、未来を担う豊かな人間育成に貢献すると共に、日本人としての自覚と誇りを持つ人材の育成に資する。

部　　門	寸　　法	出品料（税込）	表装料（税込）
① 幼・小学部　全紙 ⅙	縦 68cm×横23cm	1,500 円	3,300 円
② 幼・小学部　一字書	縦 34cm×横35cm	1,500 円	3,500 円
③ 中　学　部　半切 ½	縦 68cm×横35cm	2,000 円	3,500 円
④ 中　学　部　一字書	縦 58cm×横53cm	2,000 円	4,700 円
⑤ 高　校　部　半切	縦136cm×横35cm	3,000 円	4,000 円
⑥ 高　校　部　一字書	縦 58cm×横53cm	3,000 円	4,700 円

＊縦作品のみで横作品は不可。
＊作品は「未表装」のまま出品すること。
＊各部とも出品点数は制限しない。
＊各部とも選文･書体自由。
＊臨書の場合は、出典、釈文を出品券の各欄に明記のこと。
＊墨色についても配慮すること。
＊規定違反は受け付けない。
＊秀作賞以上の作品は本会で一括表装する。表装料は作品返却時に指定表装店より代金引換。

会　期　**令和５年１月４日（水）～１月10日（火）**
・午前9時30分～午後5時30分（入場は午後5時まで）
・最終日は午後2時まで（入場は午後1時30分まで）

会　場　**東京都美術館２階第２・３展示室**（東京都台東区上野公園8-36）

授賞式　**令和５年１月８日（日）**

褒　賞　**文部科学大臣賞、学会大賞、中国大使館賞、東京都教育委員会賞、他各賞**

◇全日本学生書道展関係の郵便物は「不二」誌競書との混同をさけるため、封筒のおもてに「全日本学生書道展係」と明記のうえ別個に送付すること。
◇本展覧会規定の出品目録や郵便振込用紙の請求はすべて返信用封筒（住所・氏名記入、切手140円貼付）同封のうえ全日本学生書道展係宛に申し込むこと。

《送付先･お問い合わせ》

〒101-8358　東京都千代田区西神田2-2-3
公益財団法人日本書道教育学会　全日本学生書道展係
電話：03-3234-3956　FAX：03-3234-3548

昭和二十六年十月八日第三種郵便物認可　毎月一回一日発行　定価五五〇円
令和四年八月二十五日印刷　令和四年九月一日発行　第七十二巻第九号　通巻第八五二号

不ふ
二じ
小学上級版

不二　小学上級版　2022 9月号　公益財団法人 日本書道教育学会

不二教室	年組
段級	名前
半紙	
硬筆	
条幅	

第13回
漢字造型と傳統の寫經展

入場無料

■出品者

水寿　梧水　樹草　音秀　霞月　濤春　苑琴　翠舟　水峰
稲万　井望　香淡　琳桂　幸窗　香溪　玉真　清虹　淀萩
木山　川巳　井尾　條宮　宮川　田原　橋浦　廣川　阪田
鈴須　立辰　永中　中二　二長　林福　船三　安吉　吉吉

城和　石月　鯉應　嶺秋　蓮香　華彩　芝小　泰景　秀清　鳳映　愛華
橋橋　保野　塚宿　原倉　塚川　岡谷　木川　島林　原木
石石　小浅　飯指　上大　大小　片甲　鏑亀　小小　菅鈴

会　期　令和４年９月20日[火]－25日[日]
午前11時～午後７時（最終日は午後５時まで）

会　場　鳩居堂画廊３階・４階
〒104-0061　東京都中央区銀座５丁目７－４
TEL:03－3574－0058

【主催】公益財団法人日本書道教育学会　【後援】学校法人 日本書道藝術専門学校
www.nihonshodou.or.jp

毛筆・ペン・篆刻作品展
第44回 全国公募 千字文大会

会　期　令和４年９月24日[土]－26日[月]

■会　場　日本書道藝術専門学校（第１会場）、東洋文化不二研修所（第２会場）
（東洋文化不二研修所）〒414-0044 静岡県伊東市川奈 1191 TEL 0557-45-3254

■時　間　午前10時～午後４時30分（最終日は午後３時まで）

入場無料

【主催】学校法人 日本書道藝術専門学校　公益財団法人 日本書道教育学会

〈日本書道藝術専門学校　千字文大会事務局〉
〒414-0051 静岡県伊東市吉田1022　TEL（0557）45-4194　FAX（0557）45-3256
www.nihonshodou.ac.jp